

ブレメン経済工科大学 交換留学報告書

静岡県立大学 国際関係学部
国際言語文化学科 三年 ヨーロッパ文化コース

私は今回の交換留学を通じて、ドイツ現地の人たちの人柄、生活様式、文化など様々なことを自分の身をもって感じる事ができた。

私が感じた彼らの人柄は、誰かが助けを求めていたら問題が解決するまで全力で手助けをすること。偶然スーパーで出会った見ず知らずの人であっても、困っていたら笑顔で手を差し伸べる。日本人は見知らぬ人に話しかけようとしませんが、彼らにとっては初対面など何の問題もないように感じた。私がドイツ人の友達と会うとき、その友達の友達も一緒に参加して食事を共にするという場面も多々あった。少し人見知りする癖がある私はドイツに来たばかりのころは戸惑ったが、自分が今まで知らなかった人と会話することの面白さを見出すことが出来るようになった。ドイツで外国人という立場で暮らしていた私は、当然のことながらどうしたらよいかわからないことに直面することが多く、自分で他人に助けを求め問題を解決しなければならなかった。このサイクルを繰り返していくうちに、私もドイツの人たちのように他人に対する抵抗感が薄れ、さらに積極的に行動できるようになった。

ドイツの人たちは休日をととても重視している。休日は一日中家の中でテレビを見てごろごろするという人は少ないように思える。彼らにとって休日は家族や友達と一緒にゆったり過ごす日であり、カフェでおしゃべりをしたり公園に行き散歩などをして楽しんでいる。またドイツの気候は常にいい気候であるとは決して言えない。言ってしまうと大半は曇りの日が多く、晴れていても突然雨に見舞われることもしょっちゅうである。なので天気の良い日は大勢の人が外に出て散歩をしたり日光浴をして楽しんでいる。そして彼らは健康にも重視している。ジョギングをしている人や通勤通学の移動手段として自転車を使っている人も多い。自然保護の面を考慮して自転車を好んで移動している人も多い。ドイツといえば肉中心の食事を想像するが、彼らが毎日そのような食事をしているわけではなく、むしろ野菜や果物が安値で手に入ることもあり健康的な食事を取り入れている。ドイツにはベジタリアンや乳製品も摂取しないベーガンが多いこともあり、彼ら向けの肉や魚を含まない食事も普及している。また EU 有機農業規則で厳しく定められ認証されるオーガニックブランドのビオ食品が存在する。ほかの商品と比べると値段は上がるが、食品への安全性を求めビオ食品を購入する人は少なくない。

ドイツのイベントごとは家族と一緒に祝われることが多い。最も大切なイベントの一つであるクリスマスは家族と一緒に食事をし、お互いにプレゼントを贈りあう。自分の家族だけでなく、恋人の家族のクリスマスパーティーにも参加し親睦を深めるのだ。そんな家族にとって最大のイベントであるクリスマスは私はホストファミリーと共に過ごした。本物のドイツ家庭のように食事を共にし、プレゼントを交換し、実の家族の一員のようにクリスマスを祝った。またドイツではイベントの有無に関わらず家族とともに過ごす時間を大切にす。週末を使って家族に会うために何時間もかけて実家に帰ることはしょっちゅうである。

約一年私はドイツで生活して様々なことを経験し、得た知識を吸収した。最も強いドイツ

のイメージは、人が温かいということ。親切で、自然を大切に、家族や友人を思いやる心を持っている人がたくさんいる。私がこの交換留学を通してドイツで暮らすことがなかったら、このドイツの人たちの素敵な人柄に気づくことは出来なかつたろう。彼らと現地で触れ合うことによって、ドイツのことをたくさん知れただけではなく、自分の内面的な部分でも成長できたことがたくさんある。日本に帰国して思うことは、思い切ってドイツに留学してよかったということ。今回ドイツで交換留学生として勉学に励む機会を与えてもらったことに、改めて心から感謝したい。